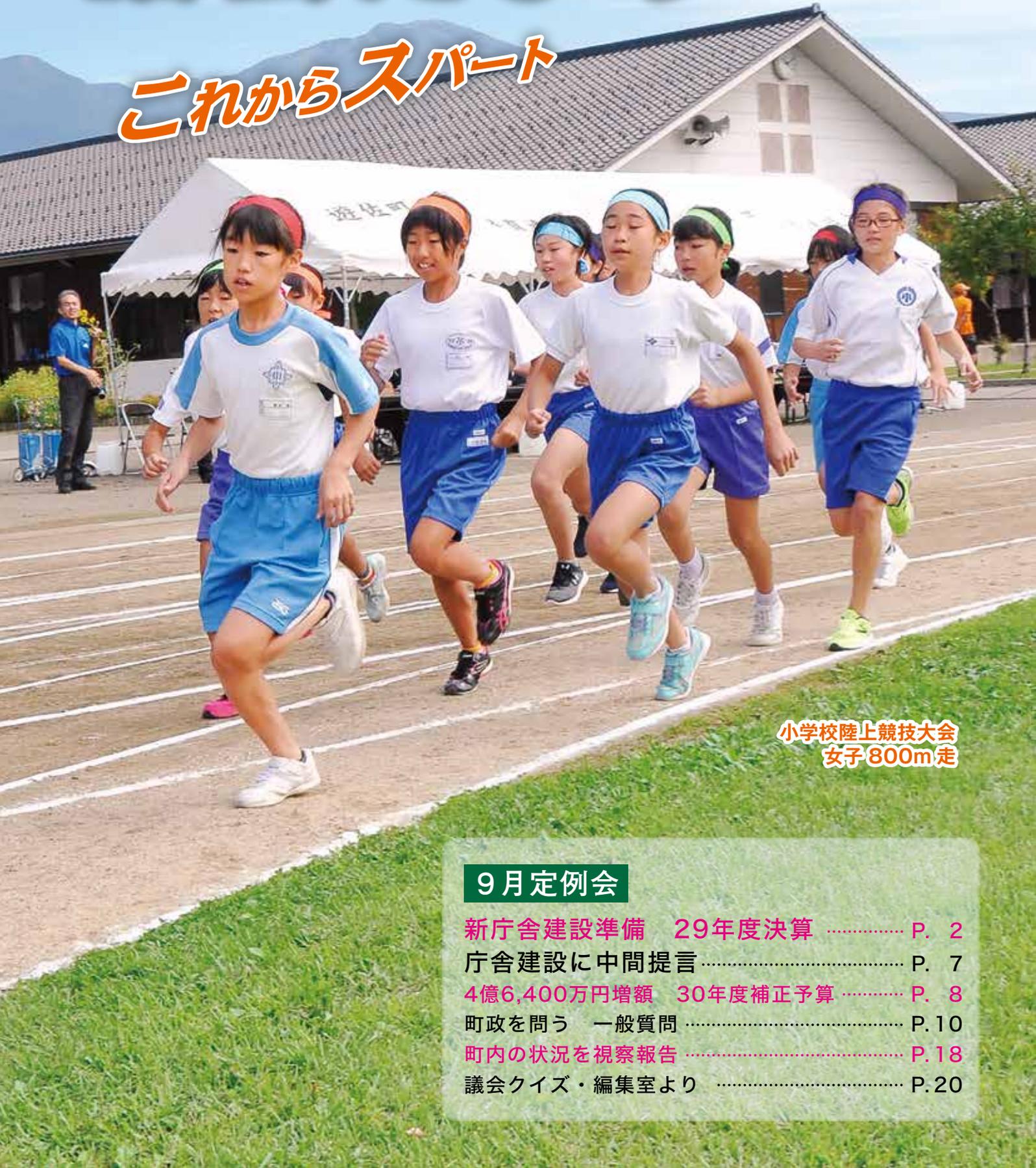


議会だより

9月定例議会号

平成30年11月1日発行

これからスパート**小学校陸上競技大会
女子800m走****9月定例会**

新庁舎建設準備 29年度決算	P. 2
庁舎建設に中間提言	P. 7
4億6,400万円増額 30年度補正予算	P. 8
町政を問う 一般質問	P.10
町内の状況を視察報告	P.18
議会クイズ・編集室より	P.20

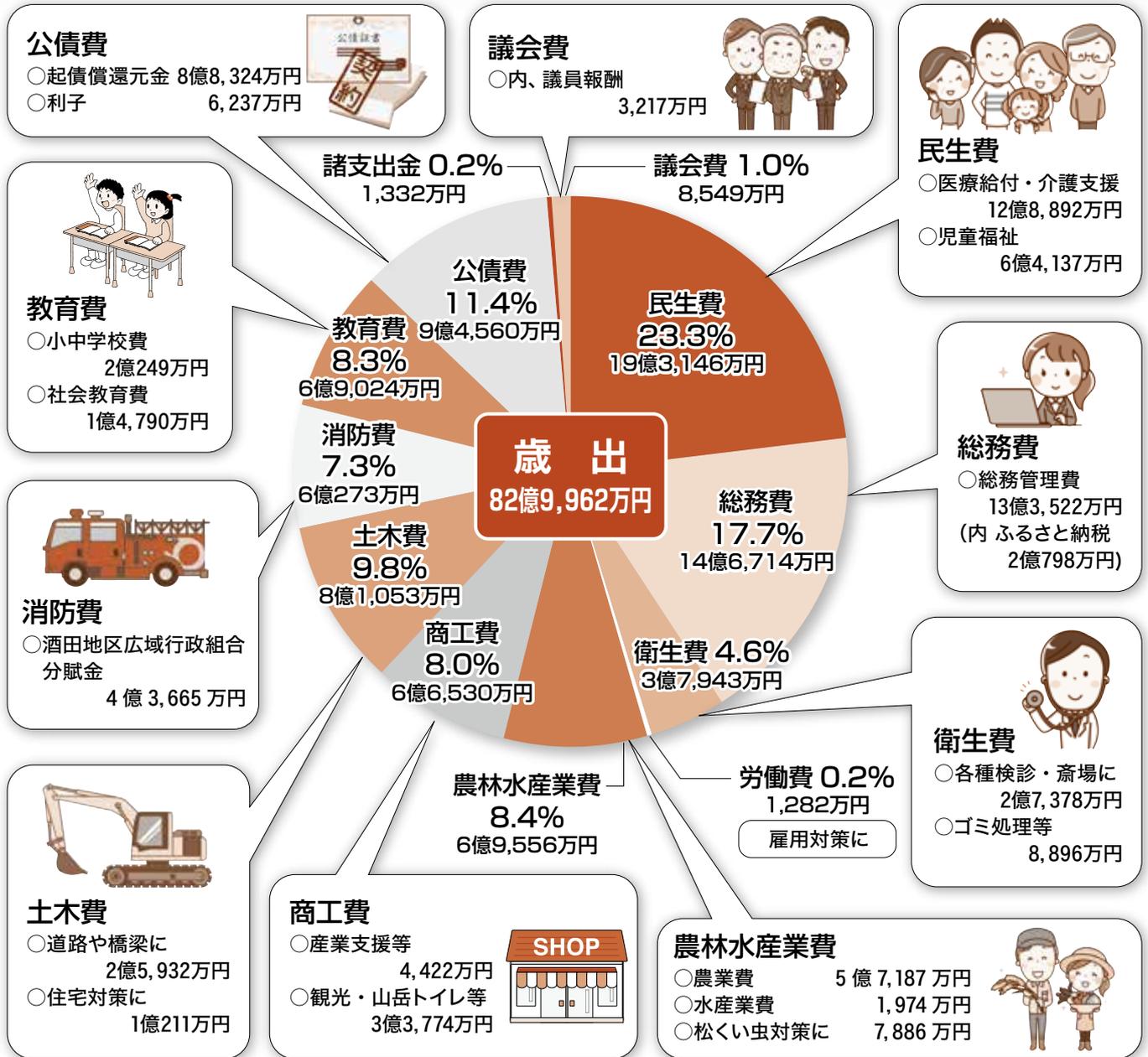
山岳トイレ完成 むけて準備

一般会計 歳出

82億9,962万円

前年度比 1億2,418万円 (1.5%) の減

決算の概況は4ページ



一般会計から特別会計への繰入額

●国民健康保険会計	1億2,882万円
●介護保険会計	2億6,737万円
●後期高齢者医療保険会計	7,355万円
●公共下水道会計	3億7,850万円

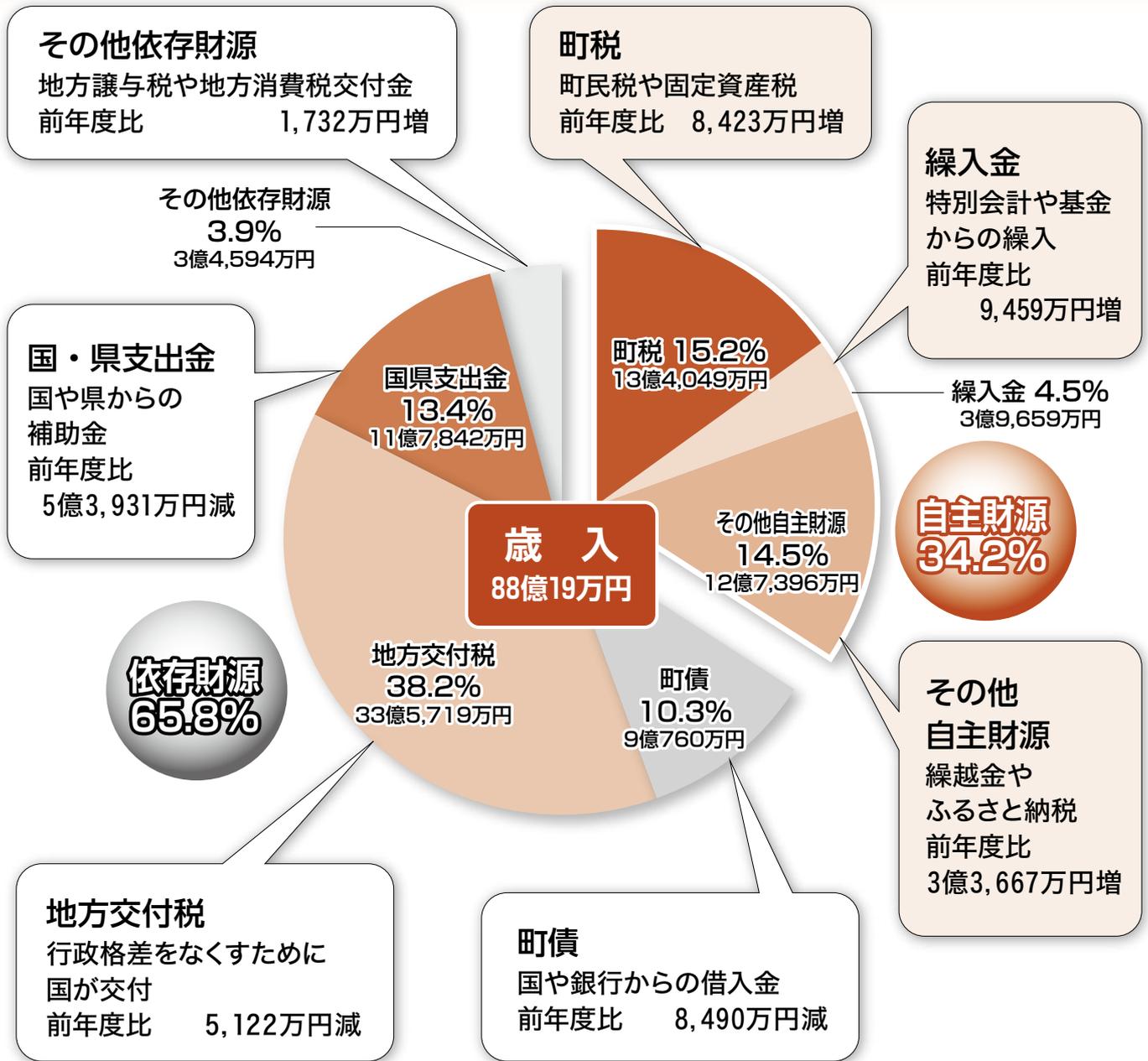
※一般会計からの繰入は、各特別会計事業を維持するため、一般会計から補てんするもので、国県からの補助金も含まれます。

水道事業会計

●収益的収入	4億4,078万円
●収益的支出	4億1,607万円
●純損益	2,471万円

29年度
決算認定

消防署遊佐分署・御浜 新庁舎建設に



特別会計決算 歳出 47億5,080万円

会計区分	国民健康保険	介護保険	後期高齢者	公共下水道	地域集落排水
歳出額	18億9,320万円	18億3,880万円	1億7,216万円	7億5,995万円	8,669万円
前年度比	952万円増	102万円増	527万円増	2,733万円増	311万円減

決算 質疑 あれこれ

決算審査特別委員会

委員長 菅原 和幸
副委員長 齋藤 武

平成29年度遊佐町決算を問う!

平成29年度遊佐町一般会計決算並びに特別会計決算5件・水道事業会計1件を9月10日、11日に各常任委員会にて、9月13日、14日には決算審査特別委員会にて審査しました。

決算審査とは?

決算審査とは予算執行が適正であるかをチェックすると共に、次年度の予算編成に改善と提案を求める場です。

29年度一般会計決算の概況



消防署遊佐分署

29年度決算の歳入から歳出を差し引くと、5億57万円の赤字になるが、30年度に繰り越される事業財源6千563万円や、28年度の実質収支等を差し引くと、29年度の実質単年度収支は、1千777万円の黒字となった。昨年と比べて黒字額が減つたのは、新庁舎の建設のため、庁舎等建設基金に2億円余りを積み増したことによるもので、健全化比率などが示すように、健全な財政運営になっていると判断できる。

公有財産の状況では、懸案の青葉台住宅団地分譲地がすべて売却されたことや、町民の安全・安心の要である消防署遊佐分署の竣工などが挙げられる。

外部評価対象事業の設定は適切か

齋藤 武 委員

企画課長

Ⓐ 行政事業について外部評価制度が設けられている。しかし評価すべきと思える事業が対象から外され、評価しなくてよいと考えられる事業が対象に含まれている。

Ⓑ 行政評価の対象となる事業は、一般会計、特別会計と企業会計に属する全ての事務事業である。ただし、町に裁量権がない事業、扶助的性質の高い事業等は除かれる。

対象事業を検討すべきではないか。

評価の対象外となる事業は、事業担当課と企画課担当者が協議し対象外としている。

再度、外部評価委員等の意見も聞きながら担当課と検討したい。



外部評価委員会 (外部評価ヒアリング)

町史下巻の進み具合は

松永 裕美 委員

教育課長

〔 〇 〕 文化財保護費の中で編纂室移転委託料があるが、先人の労苦や実績を遊佐町の歴史として町史にきちんと記録する事業は大切なことだと考える。町史編纂の進捗状況は。

〔 〇 〕 町史下巻の編集は、上巻編集委員の高齢化等で編集委員の委嘱ができず、29年度まで未着手であった。

30年度は、年度当初に委嘱を行い編集編纂合同委員会、編集委員会を開催することができ、一部原稿が入稿されている。予定としては2年後の完成を目指している。



ふるさと納税返礼品は

土門 勝子 委員

企画課長

〔 〇 〕 ふるさと納税寄附金3億5千万円超が町に入っている。

国では返礼品調達費を30%以下にして、高額な物や地場産品以外は送らないようにしているが、我が町による返礼品は大丈夫なのか。



〔 〇 〕 29年度のふるさと納税返礼品の中で、米については、農業が本町の基幹産業であることから、返礼割合を高く設定していた。また、米以外の返礼品については、基本

50%以下の返礼割合にしていた。

30年度は、国の指導もあり、本町も返礼割合を30%以下に抑えらるるとともに、地場産品で対応している。

給食廃油のすみ分けを

筒井 義昭 委員

教育課長

〔 〇 〕 小中学校での給食使用後廃油は、有償による処分から、売り払い収入へと改善が図られている。当廃油は、石けん運動推進事業としても活用されてきたことを踏まえ、売却と活用のすみ分けが必要ではないか。

〔 〇 〕 学校給食廃油は、石けん研究会より必要数量を回収してもらい、粉石けんとして提供いただいていた。

長年続いてきたこの活動を継続しながら、残りの廃油は町外業者へと売り払い、すみ分けながら今後も実施して行きたい。



給食の天ぷら油が石けんに

町指定文化財の活用を

佐藤 智則 委員

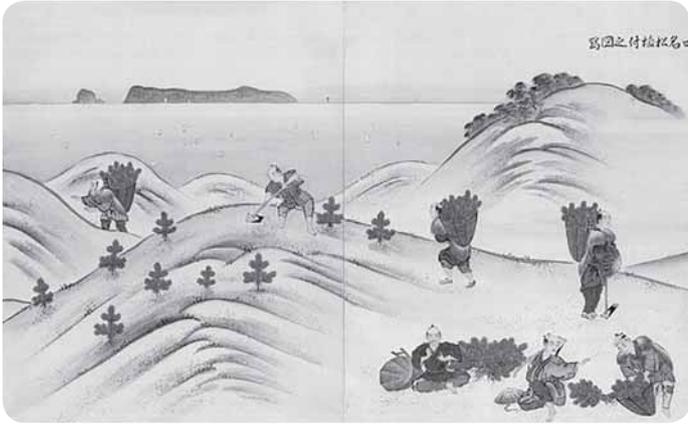
教育課長

圖 文化財保護費の委託料に、レプリカ等作成委託料とある。

先に作成した「曾根原六蔵翁西濱山植付之圖」のレプリカを、もっと多くの場において活用すべきではないか。

圖 レプリカ等作成委託料の内容は、旧菅里中にあった埋蔵文化財調査室の大型備品を旧西遊佐小に運んだ委託料である。

「曾根原六蔵翁西濱山植付之圖」のレプリカは、小学校の行事等に貸出し活用されている。縮小版も作成し、小学校に寄贈している。



曾根原六蔵翁西濱山植付之圖

プールの監視マニュアル作成を

斎藤 弥志夫 委員

教育課長

圖 プール監視員謝礼として15万円支払われている。プール監視は安全を確保するために重要な役割である。プール監視を円滑に遂行するにはマニュアルを作成して実践

する必要がある。

圖 夏休みのプール利用は、PTA監視の下で運営されている。各PTAには3万円ずつ支出しているが、教職員も1名以上付き添うこととしている。

子どもたちの安全確保のため、事前の救命救急講習や監視の手引き等を作成し対応している。

地域の自主防災消防団が核では

阿部 満吉 委員

総務課長

圖 西日本豪雨や北海道地震災害は、多くの教訓を残している。

遊佐町にあっても自主防災に向けた「集落防災組織」の取り組みが始まっている。一方、核となる消防団組織の統合再編と聞いたが。

圖 団員定数700人に対し、30年4月現在で642人と、年々その差が広がっている。今年度から団員定数の見直し及び班統合等による再編議論を本格スタートさせた。「消防力の保持」「消防団が活動しやすい体制」という観点で、その水準をどこに置くのかを見定めることとし、各自主防災組織や地域とも協議の上結論を出す予定でいる。

記念植樹で桜の世代交代を

高橋 冠治 委員

地域生活課長

圖 中山河川公園は東北「夢の桜街道」にも指定された桜の名所である。

今上天皇の御成婚を祝うための記念植樹であり、60年以上になる。

来年は元号も変わり新天皇が誕生する。この機に記念植樹としては、

圖 中山河川公園の桜は、老木化が進んでおり、地元集落の皆様より枯れ枝の剪定や周辺の草刈りなど、ご協力に感謝している。

新たな苗木は、洗沢川の河川堤防敷に植樹することになる。河川管理者である県の許可が必要であることから、協議したい。



桜の名所を後世に (中山河川公園)

新庁舎建設に中間提言

議会では新庁舎の設計にあたり多角的に調査し
町に対し提言を行った



提言1 新庁舎の位置

- ・仮庁舎建設などの無駄が省かれる庁舎の東側駐車場周辺が、適地と考える。

提言2 建設にあたっては

- ・町内の人材、資源を活用
- ・他の施設とのアクセスを重視
- ・建設費を抑えるアイデアを

提言3 新庁舎の機能

- ・できるだけ1カ所にまとめ、町民の利便性を第一に
- ・防災センターの活用も



庁舎建設に関する調査特別委員会の視察報告



真室川町役場 新庁舎イメージ図

7月19日、これから新庁舎を建設する真室川町を視察。設計にあたって町の課題や使いやすい庁舎について説明を受けた。

■新庁舎建設の概要から

- ・新庁舎内に町民や各種団体によるイベント開催できる開放エリアを設置
- ・除雪作業がしやすい凹凸のない長方形の建物で、無落雪の陸屋根

予算 質疑

あれこれ

役場新庁舎 基本設計・用地取得始まる

4億6,400万円増額し 総額87億5,100万円に

補正予算審査特別委員会

委員長 松永 裕美
副委員長 筒井 義昭

県立酒田特別支援 学校通学費補助金

佐藤 智則 委員

補正の ポイント



住宅 ○定住促進支援に 1,000万円

農業 ○エゴマ栽培に支援 471万円
○アスパラ・パプリカ等
産地育成支援 4,867万円

新庁舎 ○基本設計 2,049万円
○用地取得 2,170万円
○造成工事 6,450万円

○ 30年度遊佐町から幼稚、小学、中学、高等部に合わせて何人通学しているのか。
また、以前は学校に寄宿舎もあったが、28年に閉舎となった。御家族の胸中察するに、心通じ合える行政支援を期待したい。

教育課長

○ 現在、小学部に7人、中学部に4人、高等部に10人の計21人が通学している。

○ この内、小学部の4人、中学部全員、高等部の4人は鳥海学園からの通学者である。

○ 特別支援教育充実のため、就学相談や就学支援委員会、子どもたちにとって最適な教育環境を提供できるよう適切に対応している。

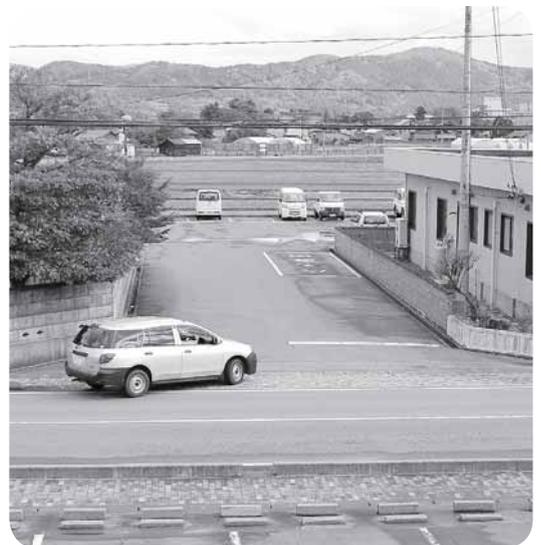
新庁舎への進入 経路は大丈夫か

齋藤 武 委員

○ 新庁舎建設のため用地取得費が計上されている。以前から建設予定地は西側県道からの進入路の幅の狭さが指摘されていた。改善のめどはついたのか。

総務課長

○ 建設予定地は、現庁舎東側駐車場及びその周辺地と決まった。建設予定地の南側で若



新庁舎 西側県道からの進入路は

新庁舎建設位置 決定を受けて

菅原 和幸 委員

○ 者定住住宅の整備が進められているが、その間を通すかたちで、将来的には県道交番側から進入できるように道路の構想を持っている。
32年度庁舎完成に合わせて一部開通を予定している。

○ 新庁舎建設位置は、町庁舎建設検討委員会での検討を受け、東側駐車場の隣接地に決定した。

用地取得、造成工事に着手する前に、地方自治法4条に定める条例改正を行うべきではないか。

総務課長

〔答〕 30年度末完成予定の基本設計に合わせ、31年3月定例会へ「役場の位置に関する条例」の一部改正条例の提案をしたいと考えている。自治法上その時期について決まりはない。

先進地事例を見ても、基本計画策定、基本設計や実施設計の段階での上程など様々である。

本町の場合、概ねの建



あわび陸上養殖



物の配置が定まった時点が適当と考えている。

※地方自治法4条：役場の位置を変更するときは、条例で定めなければならぬ。

あわび陸上養殖事業の見通しは

筒井 義昭 委員

〔答〕 あわびの陸上養殖事業も、4年目となる。31・32年度には養殖施設建設が計画されている。

本事業の運営主体の構築と、当初予定事業規模について、しっかりと検証すべき時である。

産業課長

〔答〕 現在、実証試験事業については、飼育技術及び採算性の検証などを中心に進めているが、今後、本事業に向けて、運営実施主体の決定と飼育技術の向上に重点をおいて進めていきたい。

また、実証試験の結果に基づき、本事業の施設整備計画について、より費用対効果を向上させるよう計画変更等も考慮して進めていきたい。

町外保育の状況は

土門 勝子 委員

〔答〕 子ども・子育てに係る業務委託料250万円補正計上の中に、町外保育園入園児とあるが、町外保育園児は何人いるのか。町内保育園には入れないということなのか。

健康福祉課長

〔答〕 9月1日現在、町外

の保育園等に入園している園児数は25人となっている。

入園施設は保護者の希望により、保護者の勤務地の近所であるとか、通勤経路途上であるなどの理由により調整している。

町外施設を希望する場合は、施設が所在する自治体に入園の可否について照会を行い、可能な場合に入園している。

企業開発費

斎藤弥志夫 委員

〔答〕 中小企業設備投資支援事業補助金として補正予算で320万円計上されている。町内の労働者の雇用が促進されているのか。

産業課長

〔答〕 今回の補正は、運輸関連企業の整備場の新設と、鉄鋼関連企業の機械設備導入の2件に対応するためのもの。今回の申請は、雇用の



町立学校適正整備審議会

教育課長

〔答〕 8月23日に第5回適正整備審議会を開催している。

今後、中間答申を受けて各地区説明会を実施し、年度末までには最終答申を行う予定である。

今回は統合時期の諮問を受けているが、将来の児童数の推移を確認し、再度複式学級が発生する2023年度前後や統合までの準備期間4年が一つの目安となっている。

小学校の統合時期は

高橋 冠治 委員

〔答〕 町立学校適正整備審議会委員報酬が増額補正されているが、現在の状況は。

一般質問通告の要旨

◎=記事掲載あり ○=記事掲載なし
(通告順)

- 赤塚 英一 議員 P 11
- ◎ 教育環境の整備と充実を図るべきでは
- 菅原 和幸 議員 P 11
- ◎ 豪雨時の対応と水防について
 - 水稲の白穂被害について
- 松永 裕美 議員 P 12
- 小中学生の成長課題対策を
 - ◎ 職員人材の確保と育成を
- 阿部 満吉 議員 P 12
- ◎ P A T計画の進展は
 - 交通弱者対策を
- 齋藤 武 議員 P 13
- ◎ 町の観光政策は時代に即しているのか
- 土門 勝子 議員 P 13
- ◎ 空き家にしない予防対策は
 - シンプルで美しい公共建物を
- 筒井 義昭 議員 P 14
- 鳥海・飛鳥ジオパークの周知・ガイドの養成・ジオ認定商品の開発を含めた現状と課題を伺う
 - ◎ 小中学校における就学環境の向上を
- 斎藤弥志夫 議員 P 14
- ◎ 海岸の浸食対策
 - 鳥海山の知名度不足
- 高橋 冠治 議員 P 15
- ◎ 遊佐パーキングエリアタウンの進捗状況は
- 佐藤 智則 議員 P 15
- ◎ 遊ぼっと(グラウンドゴルフ)施設整備の補完を

町の事業と
課題を問う!

10議員登壇
9月4日・5日
一般質問

一般質問

遊佐保育園 運動会



選手入場



決めポーズ

Q
&
A

ここが聞きたい

【一般質問とは】

町の行財政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。

教育環境の整備と充実をはかるべきでは



赤塚 英一
議員



情報機器の環境整備と

プログラミング教育研修を実施

圃 先の一般質問でも取り上げた「プログラミング学習」が2020年度から小学校においても必須となるが、世の中の変化の速度に対する学習現場の整備は追いついてい

ないのが実情ではないか。前回、子どもたちの学習環境として「無線LAN」の設置やタブレット型パソコン整備が必要との答だったが、その後どのような検討をしたのか。

子どもたちが、世の中の変化に対応しているスキルを身につけさせるための教育環境の充実は、我々大人の責務だと思う。そこで、教育環境の整備と充実をはかる施策をどのようにするのか。

教育長 町としては新学習指導要領におけるプログラミング学習を推進するため、全小学校に140台のタブレット型パソコンを整備し順次更新している。

また、無線LAN環境の充実を図るため、アクセスポイント機器の更新も実施している。さらに電子黒板を、各小学校に1台ずつ整備した。

今後も機器の更新を行いながら、プログラミング教育を行う教職員用の研修会を実施し、情報教育をサポートできる環境整備に努めていきたい。



電子黒板を活用した授業 (吹浦小6年生)

防災情報をSNSの活用で



増水した洗沢川 (30年8月5日 中山集落)



菅原 和幸
議員



緊急速報メール等の
通信手段整え万全を期す

圃 水害を伴う豪雨が各地で相次ぐなか、本町付近でもこの8月に豪雨があつたが、月光川治水ダムの効果もあり、大きな水害の発生はなかった。

災害が発生した場合、町民に対して防災情報を適時に、複数の系統で提供することは、行政の責務と考える。

「遊佐町災害対策基本条例」には、町民の自助努力として「防災に関する情報を取得すること」と明記されている。

「SNS」の活用は、情報提供に加え、行政側が住民の方から、瞬時に情報を得ることも可能であると考え提案する。

町長 災害発生時またはその恐れがある時の町民に対する防災情報の伝達方法について、防災行政無線による放送、広報車による巡回広報、各集落の自主防災組織と消防団による周知など複数の情報伝達により行っている。また、町のホームページのトップページに災害情報の表示や個人の携帯電話に緊急速報メールを流す仕組みを整えてきた。

さらには、これらの情報伝達手段が災害発生時に機能するように、情報伝達訓練も行っている。

本町は比較的大規模災害が少ない町とは言え、今後とも、いつ起こるとも限らない災害を想定し、自主防災組織や消防団等と連携を密にし、各種訓練を実施する中で実践的検証を行い、確実な情報伝達の充実に向けていきたい。

※SNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)：インターネット上のサービスを活用した人と人とのつながりを支援するサービス。フェイスブックやツイッターなどが代表的。

遊佐町議会だより

職員人材の確保と育成を



松永 裕美 議員



将来のまちづくりを担う

多様な人材確保に努める

問 新卒採用は重要であると認識しているが、民間活力導入や即戦力としての人材募集の目的で他市町村では、中途採用資格年齢を39歳や40歳にしている例もある。

民間企業経験者等、さまざまな事業所を経験してきた高いスキルを持つ人材や、Uターン採用枠の年齢制限を若干延ばす等の緩和も将来の当町にとって有益になるのでは。

町長 町では、荘内地方町村会で3町共同の実施要項を作成し、年齢等の受験資格を設定するなどして職員採用を行ってきた。

30年度の上級行政職試験では、採用時の年齢条件を30歳未満として、新規卒業者に限らず、社会人経験者も応募対象としている。社会人経験のある職員も少なからず採用し、活躍している。

また、29年度からは土木職で、専門的な資格を持ち、一定の経験を積んだ社会人の募集も行っている。採用時の年齢が35歳未満、住所要件もなくし、Uターンなどにも対応できる条件となっている。

2018年度

遊佐町 新規職員 大募集!!

生まれ育った、遊佐町で働こう!

【応募期間】2017年7月18日(火)～8月10日(木)

31年度の募集は終了しました

新「道の駅」の準備は



いつ完成するのか日沿道 (藤崎字千代ノ藤地内)



阿部 満吉 議員



道の駅の「儲かる仕組み」を検討

問 30年4月、道の駅「米沢」が開業した。米沢といえは「米沢牛」そして地酒とワイン。フードコートや関連商品を前に長蛇の列だ。1カ月で30万人が訪れたという。一方、秋田自動車道を降りた能代市二ツ井町では、米代川をバックに道の駅「二ツ井」が7月に

オープン。来年にはカーンなど親水をテーマに「川の駅」としても生まれ変わるとのこと。秋田ならではの食文化の数々、そして道の駅内を秋田杉のほのかな香りでもてなしている。さて、遊佐の新しい道の駅は。

町長 30年度は、これまでの検討経過を踏まえ、事業化に向けた検討を行っている。道の駅の「儲かる仕組み」と「魅力の享受」の相関性を意識しながら、利用者ニーズの把握や先進事例を基に、利用者数の増大や儲けに関する機能毎の魅力を整理・検討し、予備計画(案)の作成に取り組んでいる。

将来、日沿道が開通すれば、地域間の移動の利便性の向上によって、地域の発展にとって欠くことのできない社会基盤となる。道の駅を核とした地方創生を果たすため、さらなる賑わいを創出し、収益性の高い道の駅にすることで地域経済への還元と好循環を生み出すことが重要であると考えている。町としても、日沿道の整備促進に向け、引き続き全力で取り組んでいく。

持続可能な観光政策を



武 齋藤 議員



時代に即した

戦略的な観光施策を展開

町内の観光スポットが全国的にも知られつつあることは好ましいが、一方では「観光公害」や「オーバーツーリズム」と呼ばれる現象が全国各地で発生している。現時点でこれらの現象が町内で著しいというものはないものの、予兆は見受けられる。

近年の町の観光政策は、情報発信に重きが置かれていた。これからはそれ以上に、観光資源の保全やそれを支えるマンパワーの持続的確保などが重要と考える。観光計画の策定なども足がかりに、現場を交えた議論を進めるべきだ。



保護のためロープ柵を設置（丸池様）

町長 本町の美しい観光資源や大切な水環境を保全し、後世へ残していくことは重要なテーマだと考えている。例えば、丸池様については、裸地化などの環境への懸念が指摘され、ロープ柵を設置し、環境の保全を図った。

また、観光客が増えれば、トイレの問題、治安の面を不安視するケースなどの課題がある。さらに、マンパワーという意味では、登山ガイドやジオガイド等の育成が急務であり、リピーターにつなげていくためには、重要だと考えている。

今後はインバウンドへの対応についてもますます重要と考えているので、観光関係者のみならず産業部門や史跡・文化財等を管轄する教育委員会などとも連携し、時代に即した戦略的な観光施策を展開していきたい。

※オーバーツーリズム：観光地が耐えられる以上の観光客が押し寄せる状態のこと。

平成28年度からの追跡調査空き家の変動

(戸数)

	蕨岡	遊佐	稲川	西遊佐	高瀬	吹浦	計
平成28年度 空き家数	55	147	36	57	75	136	506
入居	4	8	2	4	3	6	27
更地化	3	4	0	1	2	5	15
平成29年度 新規空き家数	9	14	11	6	8	16	64
平成29年度 空き家数	57	149	45	58	78	141	528

30年5月号広報ゆぎより

空き家にならない対策を



土門 勝子 議員



「空き家所有者意向調査」を実施

個人の財産権から、今まで対応に限界があった。町も、地域と連携して、解決の道しるべに知恵を出すときでは。

町長 現時点では空き家対策は現況調査にとどまっている。利活用以上に空き家が発生している状況にある。

また、独り暮らしの高齢者が空き家予備軍となっているため、深刻に受け止めている。

空き家になる原因として考えられるのは、①別の場所に新築したほうが安く上がる。②相続する認識がない。③他人が使用するこへの抵抗がある。等々考えられる。

まずは原因究明のため空き家所有者に対し「意向調査」を実施し予防対策につなげたい。

町長 空き家は町全体で528戸あり、活用可能な家屋は再利用しているが、今はそのまま放置すれば15年後には3戸に1戸が空き家になると予測される。

近年、災害や鳥獣被害

も多く次世代に大きな負の遺産を残すことになる。空き家にならない対策として、「誰かに相談、適正管理してもらうこと」を元気なうちに決めておくことが有効ではないか。

一般質問

Q & A

ここが聞きたい

就学環境の向上を



筒井 義昭 議員



計画的に就学環境を

改善整備

問 地球温暖化により東北地方でも、猛暑・酷暑ともいえる夏を迎える時代となった。
特に本年は6月中旬より7月にかけて、暑い日が

続き小中学校へのエアコンの設置が求められている。県内の市町村でもエアコン設置事業の推進がなされているが、町における普通教室へのエアコン

の設置率は0%であるとの報道がなされた。
町でも小中学校の就学環境の向上に向け、国の学校施設環境改善交付金や、有利な起債による財源の確保を行い、エアコン設置を積極的に取り組むべきと考える。

教育長 ここ数年記録的な暑さにより年々最高気温の更新が続いている。特に中学校校舎はコンクリートが熱を帯び、木造より暑さが厳しい状況だ。今夏は全国的に熱中症にかかる児童生徒が多発し、政府も来夏まで全ての公立小中学校へクーラー設置を検討しているようである。
町としても、国の政策を利用し計画的な冷房装置の設置について検討していきたい。



コンクリート造の遊佐中学校



浜崖がある町内の海岸線

海岸の浸食対策を



斎藤 弥志夫 議員



引き続き県に要望していく

問 漂砂とは波や流れにより土砂が運ばれる現象であるが、山形沿岸で漂砂は季節的に変動するものの、全体的には北向き

の沿岸漂砂が強い。
河川における砂利採取、海岸の護岸整備、ダムによる河川への砂礫供給減少は河川から海岸への砂礫供給減少要因となる。町内の海岸を通過するものと10基ほどある風車のあたりが浸食が激しく、明らかに浜崖が発生している。浸食が進むほど浜崖

は高くなり転落や落下事故などの発生は危惧される状況になる。
景観の保全と安全の確立のための浸食対策の全体像はいかなるものか。

町長 比子海岸浸食対策事業については、山形県でその事業にあたっていている。比子海岸の浸食は、日本海特有の冬期風浪と最上川や日向川からの土砂供給量の減少により砂浜の浸食を受けている。

特に青塚海岸においては、波返しや管理用道路際まで浸食している状況にある。当事業は、良好な海岸景観の形成を併せた海岸保全施設を整備するため、7年度〜40年度まで、日向川左岸〜十里塚海岸付近まで、ヘッドランド（突堤）を6基整備することとしている。
今後とも事業が確実に実施されるよう、また、早期に完成を図れるよう引き続き県に要望をしていきたい。

遊佐パーキングエリアタウンの 開業時期は



高橋 冠治
議員



町内区間の供用を見据え
整備を進めていく

圃 日沿道酒田みなと・遊佐インター間の事業着手から今年で10年目を迎えた。

活性化の拠点として期待している。

町は開通に合わせ遊佐パーキングエリアタウンを開設し町の観光・文化の発信基地として、また

道路の進捗状況は44%であり、まだ時間がかかっているが、計画用地の丸子集落周辺の道路造成工事も始まり町民からの期待も膨らんでいる。



パーキングエリアタウン予定地

開設時期は遊佐インターまでの開通時期なのか、またはそれ以北の吹浦・女鹿ハーフィンターの完成に合わせて行うのか。

町長 遊佐パーキングエリアタウン整備計画については、日沿道の事業進捗を注視しながら、町内区間の供用を見据え、整備を進めていきたい。

現在は、国や県との勉強会を継続して行い、道の駅の整備手法についての検討・調整を行っている。

4月に開業した道の駅「米沢」、宮城県登米市の道の駅「三滝堂」などの先行事例の情報も収集しながら、日沿道の整備と合せて、利用者の利便性、交通安全にも配慮した施設レイアウトを検討していく。また並行して、「儲かる道の駅勉強会」を29年度より立ち上げ、ハード・ソフト施策を整備計画に反映させたい。今後も日沿道の整備促進に向け、引き続き全力で取り組んでいく。



遊ぼっとグラウンドゴルフ場（さくらコース）

遊ぼっと（グラウンドゴルフ） 継続した施設整備を



佐藤 智則
議員



町長 継続して管理を行う

圃 我が町には文殊橋下流河川敷、旧稲川小学校跡地の総合運動公園、そして遊ぼっとのグラウンドゴルフ施設がある。遊ぼっとの施設は本来砂地であった所にコースを設置し、多年にわたる

芝の植栽、土壌改良等が行われてきたが、まだ良きコースとは言えない。飽海地区グラウンドゴルフ大会が7月27日遊ぼっとで行われ、「旧八幡町、平田町、松山町」と遊佐町の参加で開催され

た。参加された町外の皆さんの声として、好評の声は多くなかったと聞く。今日までの経過を検証し、継続した施設整備が必要と思われるが。

町長 遊ぼっとは、9年度「鳥海ふれあいの里事業」の一施設として整備された。遊ぼっとグラウンドゴルフ場は日本グラウンドゴルフ協会から認定を受けたコースではないが、その認定条件には、芝、人工芝、土、砂いずれも可とある。

一部、砂地化が見受けられる箇所も遊ぼっとグラウンドゴルフ場のコースの特色として捉えていただき、本来の自然の中でのプレイを楽しんでいただきたいと考えている。しかし、コース全体が砂地化してしまつては、芝と砂地が混在するコースを攻略する楽しさが半減してしまうことから、コースの保全については、今後とも継続し管理を行っていく。

9月定例会の審議結果

一般会計補正予算他12件

議案番号	議案名	内容	審議結果
議第53号	30年度一般会計補正予算(第2号)	財政調整基金積立や新庁舎建設基本設計などで、4億6,400万円を増額	全員賛成で可決
議第54号	30年度国民健康保険会計補正予算(第1号)	補助金等返還金で、1,812万円を増額	全員賛成で可決
議第55号	30年度公共下水道事業会計補正予算(第1号)	下水道中継ポンプの修繕料等で280万円を増額	全員賛成で可決
議第56号	30年度介護保険会計補正予算(第2号)	補助金等返還金、介護給付費等繰出金で、2,410万円を増額	全員賛成で可決
議第57号	30年度水道事業会計補正予算(第2号)	検針票伝票の変更にともない、30万円を増額	全員賛成で可決
議第58号	29年度各会計歳入歳出決算の認定	29年度一般会計ほか、特別会計6件の決算	全員賛成で認定
議第59号	遊佐町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の設定	西遊佐地区都市計画区域における建築物の制限を緩和する規定を整備	全員賛成で可決
議第60号	遊佐町税条例等の一部を改正する条例の設定	地方税法の改正にともない、たばこ税や配偶者控除等の見直し	全員賛成で可決
議第61号	遊佐町都市計画税条例の一部を改正する条例の制定	地方税法の改正に伴う一部改正	全員賛成で可決
議第62号	遊佐町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	3歳未満の保育を、保育所に代わり個人保育する事業者の、連携施設の確保と食事提供時の外部搬入基準を緩和	全員賛成で可決
議第63号	遊佐町水道事業会計剰余金の処分	地方公営企業法の規定により剰余金を決算処分するもの	全員賛成で可決
議第64号	若者定住町営住宅地造成工事に係る請負契約の一部変更	用地造成費で84万2千円の増額	全員賛成で可決
発議第4号	議員派遣	山形県町村議会議長会議員研修会 荘内地方町村議会議長会後期研修会	全員賛成で可決

◎ 9月定例会の傍聴者数

(単位：人)

日程	内容	男	女	計
9月 4日(火)	本会議・一般質問	9	10	19
9月 5日(水)	一般質問・補正予算上程	3	1	4
9月 7日(金)	補正予算特別委員会・決算上程	2	1	3
9月13日(木)	決算審査特別委員会	0	1	1
9月14日(金)	決算審査特別委員会・本会議	3	1	4
計		17	14	31

議会ホームページに訪れてみませんか

(<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>)



遊佐町の
ホームページから
遊佐町議会の
ボタンをクリック



議会の日程、
会議録などを
見ることができます。

本会議の映像も配信しています。
(編集のためリアルタイムではありません)



みなさんの思いを町政に

町民と議会の懇談会を開催します



お近くの会場にお越してください

テーマ

- ① 新庁舎に望むこと
- ② 町の施策に望むこと



11月17日(土) 午後1:30~

(概ね2時間程度)

3カ所で開催

	会場	議員メンバー
A会場	遊佐町役場 議事所	堀 満弥 阿部 満吉 松永 裕美 齋藤 武
B会場	稲川まちづくりセンター	土門 治明 高橋 冠治 土門 勝子 齋藤弥志夫
C会場	高瀬まちづくりセンター	佐藤 智則 赤塚 英一 筒井 義昭 菅原 和幸

問い合わせ：議会事務局 ☎ 72-5889

西遊佐エプロンサービス ぽっかぽかクラブ

実施日 7月23日

津波避難タワーに登る

酒田共同火力津波避難タワー
当施設は30年1月に酒田共同火力発電株式会社によって建設された津波避難タワーである。

避難室床面は海拔12・7m、屋上部は海拔15・6mの高さで、津波最高水位想定11・6mに対応したタワーである。避難室には100人程を収容出来、厳冬期において1日間避難した際の燃料・電力(太陽光+発電機)・簡易トイレ・飲料水・保存食等が備蓄されている。

当タワーは共同火力職員の避難タワーとして建設されたものであるが、釣り人や周辺会社職員も避難出来るように、酒田市と協定書を結んでいる。

《視察を終えて》

遊佐町で、避難タワーの建設が必要な地域がある。日本海側で初めての当施設視察を、今後の提言に活かしたい。

空き家を活用

リフォーム空き家第10号
十里塚地内のリフォーム空き家第10号の物件を担当職員の説明のもと視察する。築20年の延べ床面積126㎡の物件で、リフォーム事業費は386万6千円を歳出している。

《視察を終えて》

この物件は空き家調査によって、事業化が進んだ経緯を考えれば、定期的な空き家調査の重要性を再認識した。

空き家の有効利用と、解体への支援充実にに向けた支援策の充実により求められている。

独り暮らしを支援

西遊佐エプロンサービス
29年9月から取り組みられている、地域生活支援事業「エプロンサービス」の立ち上げまでの経緯の説明を受けた後で、運営開始後の課題等について、サポートの方々と意見交換を行った。

《視察を終えて》

当事業は介護サービス以前の生活支援体制であり、町内各地区で立ち上げなければならぬ事業である。それに対し行政・議会としていかなる支援をすべきかが課題である。



酒田北港 津波避難タワー

学童施設が狭い

ぽっかぽかクラブ

26年に開設した、子どもセンター施設に併設されている学童施設「ぽっかぽかクラブ」にて現状と課題について説明を受けた後に意見交換を行った。

《視察を終えて》

児童登録者数70名、平日通所児童平均30名、長期休暇時の通所児童は32〜40名とのこと。

通所児童の増加傾向と長期休暇時の現状を踏まえれば、施設の狭い状況の解消と、指導員の配置増が求められている。今後の提言に活かしたい。



エプロンサービスについて
意見交換

古民家でコーヒーを

わだや

29年度にDIY古民家再生事業で取り組まれ30年4月に開店した、「古民家カフェわだや」の事業経緯の説明を受け、リフォーム状況を視察した。

《視察を終えて》

遊佐元町の活性化と交流人口増に貢献しうる取り組みであると感じた。第2弾・第3弾に向けて

起業への支援と、遊佐をアピールできる場所の創設に向け、ニーズの調査と周知が重要と考える。

その他

・みんなDEストア(エールパ内)にて昼食

図書館 屋根修繕 高速道路工事現場

実施日 7月30日

蔵書を守る

図書館屋根改修工事

最近、老朽化に伴い町有施設の雨漏りが発生している。築27年の町立図書館も、風向きによって雨漏りが発生するため、屋根の防水工事が行われている。併せて木部の塗装も実施される。

複雑な形の屋根のため雨漏り箇所の把握が容易ではなく、また補修の効果の確認も難しいとのことであった。

《視察を終えて》

実際に屋根に上って状態を観察したが、想像以上に屋根の下地が傷んでいた。今回は主に水が浸入していると思われる箇所の板金の補修工事を緊急的に行うが、早晚抜本的改修が必要になると考えられる。

図書は濡らしてはならない共有財産であり、経過を注視したい。

新しい技術で進捗を

高速道路工事

町内各所で日本海沿岸東北自動車道の工事が進められているが、今回は藤崎・千代ノ藤地内の工事状況を視察した。

この工区では盛土工と一部の法面整形工で、ICT技術を活用した工法を取り入れている。

従来は2次元データを基に丁張（目印となる仮設）を設置し、重機のオペレーターが熟練の技術で丁張に合わせ施工していた。一方、ICT技術ではレーザースキヤナやドローンで3次元データ

を作成し、それに合わせて重機が施工する。

これにより熟練オペレーターの不足を補え、また、重機と補助作業員との接触事故を防ぐことができる」とされる。

《視察を終えて》

ICT技術も本格運用が始まって日が浅く、一定程度の施工面積がないと採算が取れず、あるいは軟弱地盤などでは対応が難しいなどの弱点がある。しかし特に熟練技術者の不足は深刻と思われる。その解決のための具体的手段として、期待は大きい。



屋根の傷みを確認（手前が図書館屋根）

水道水の災害対策

平津配水池

これまで使用していた配水池の耐震性が十分ではないため、隣接して築造された。遊佐中学校の近く、平津集落の東側の山の中にある。

直径約18m、本体高さ約10mの鉄筋コンクリート造の円筒形で、1500㎡の有効容量があり、従来の同1277㎡よりやや大きくなっている。

大楯浄水場から送り込まれた水を貯え、水道水の安定供給を担う。

《視察を終えて》

この配水池はとりわけ目立たない場所にあるため、その役割が目されることは少ないと思われる。だが縁の下の力持ちとして、町民の生活を支えることになる。

当然定期的なメンテナンスも必要であり、末永く見守りたい。

その他

- ・ 鳥海工業団地内金属加工企業
- ・ サクラマス陸上養殖施設
- ・ 蕨岡小学校
- ・ ウィスキー工場
- ・ 若者定住町営住宅造成地



平津配水池

議会を傍聴してみませんか 12月定例議会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例議会が開催されます。
12月定例会は、本会議と補正予算特別委員会が議場で行われます。
一度傍聴してみませんか？

12月定例会の予定

- 12月4日(火) 本会議・一般質問
- 12月5日(水) 一般質問
- 12月6日(木) 常任委員会
- 12月7日(金) 補正予算特別委員会
本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

表紙の写真



町内5小学校による陸上競技大会。
連合運動会の時代から歌い継がれてきたスポーツ県民歌で幕を開ける。
雨の多い今年の秋。
各小学校の運動会開催には苦勞したが、この日は天に抜ける快晴。



男子4×100mリレー

子どもたちの走りは躍動そのものだ。

議会クイズ



平成30年8月1日141号

の議会クイズには52名の方の応募があり、52名の方が正解でした。

抽選の結果次の10名の方が当選し、あぼん入浴券(3枚)をお届けします。

- ② 29年度の空き家の数は？
- A 528戸
 - B 628戸
 - C 728戸

③ 11月17日の町民と議会の懇談会は何カ所で開催か？

- A 2カ所
- B 3カ所
- C 4カ所

答え ① B ② A ③ B

応募方法
ハガキに答えの記号

- 阿部 玉子(丸子) (敬称略)
- 斎藤 武(出戸)
- 大谷 知也(六日町)
- 高橋 恒子(田地下)
- 菅原 信幸(宿町四)
- 池田 智也(旭ヶ丘)
- 池田 卓也(旭ヶ丘)
- 畠山 とみ(八日町)
- 阿部 幸(十日町)
- 高橋 あき子(八日町)

☆
ハガキの余白に答えのほか議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。

① 現在の消防団員数は何人か？

- A 542人
- B 642人
- C 742人

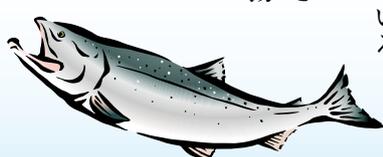
☆
あて先/999-8301

遊佐町遊佐字舞鶴211
役場内 議会事務局
締め切り11月27日
発表は次号です。

編集室より

帰ってきたよう

先日、箕輪の鮭採りの様子がテレビにて放映された。
ここ数年戻ってくる鮭が少ない不漁が続いている。
地球温暖化の影響で、海水温も上昇し、鮭にとっては故郷の川に戻ることに難しくなってきたのであると心配する関係者もいる。
最近、美味しい鮭の素性もわかり始めてきたところ。今年の水揚げに期待したい。



- 発行人 議長 土門 治明
- 議会広報担任委員会
- 委員長 阿部 満吉
 - 副委員長 齋藤 武
 - 委員 齋藤 弥志夫
 - 委員 佐藤 智則
 - 委員 赤塚 英一
 - 委員 松永 裕美